1

2

(3)

(4)

5

(6)

を含む教区四役の顔ぶれが 禁止にかかり、伝道委員長 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546

電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918 E-mail:shimpoh-c@uccj.org 竹竹 発 行 人編集主筆 印 刷 所 前澤 知代志 株式会社きかんし

(1)

2

(3)

(4)

5

(6)

(7)

(8)

9

(10)

とで議場が合意し、常置委

ンに託して見ようというこ

た唯一の前向きな継続プラ

を可決して、結論を一年先 提案と議員提案の折衷議案

に持ち越した形となった。

(永井清陽報)

・関東 ·奥羽·西東京·東京 海

く」ことを議長報告で改め 員会」 が合同のあり方を鋭 を拒否した今総会で山里勝 同は誤りであったと総括出 意検討していると述べ、「合 て確認し、「将来教会検討委 に「しばらくの間距離を置 議長は、教団との関わり 受けて以来、宿泊業務を中 務が違法との当局の指摘を 03年、センターの宿泊業

とつけ加えた。

名中三七名が出席して開催 ぎのわんセミナーハウスを 会場に、開会時正議員四六 会は、五月二九、三〇両日、 昨年に引き続き、問安使 第五九回沖縄教区定期総 で、総会の大半の時間が割 かれ、三役・常置委員選挙 沖縄キリスト教センター ター問題一色だった。 の行われない今総会はセン (以下センターと略) 問題 もう一つの重要主題は、

は不可避」との答申を出し 能縮小、売却或いは賃貸、 員会が昨年九月、「維持、機 止し、事業運営検討特別委

センターからの借入金二九 員会は、「センターの事業を 八〇万円の弁済を免除す る」(四号議案)、「教区研修 年六月三〇日付けで解雇す 部閉鎖し、職員全員を本

解雇に反対し、事業の継続 総会に提案していた。 これに対し、職員の全員

る」 (六号)の関連三議案を ンター管理委員会を設置す

り越えられる」「開館当時の 用を活発化すれば危機を乗

この答申を受けて常置委 | として採択され、常置委員 志伝道所)、竹花和成議員 (首里) の建議二案が議案 (志真 キリスト教センターめぐり激論

沖縄

来はあまり表面に出て来なかった問題、各教区固有の新しい課題が浮き彫りになっている。

心が集まり議論沸騰する諸課題は、今年も各教区を横断して全教団的な議論となった。その一方で、

X

持、残された事業のためセ る」(五号)、「センターの維 でも教区内外の教会員の利 明が続いた。「センターは十 会議案と対峙。 躍して来た。一般客が無理 八年間、宣教の場として活 会」が開催された。 後、「センターに関する協議 協議会では活発な意見表 一日目夕食

ターに返せというのは筋が ターを建て、教区の財産と た」「教区が借金をしてセン ターに過大な負担となっ に使おう』との期待がセン 『利益を教区の互助のため |記は「計画が一00%成功 されたからだった。 新提案が教区につい最近示 でない」を援用すれば、 業の継続は可能であるとの 三議案を取り下げず継続

教区総会報告特集号第三集をお届けする。神奈川教区を除いて、ほぼ全教区の総会を終えた。例年関

のだった。 係について、05年度末まで とし、センターと教区の関 を来年の定期総会まで継続 が、二日目午後、新議案と 直ちに開催され、その合意 に方向性を出す」というも れは、「センター関連三議案 して議場に提示された。 協議会後、常置委員会が そ

の環境を害する恐れがな 内であっても、「良好な住居 第一種中高層住居専用地域 準法の但し書き(特例)、 建築設計事務所から建築基 覆したことには訳がある。 常置委員会が先の決定を するとはいえないこと。宿

く、又は公益上止むを得な いと認めた場合はこの限り 事 を継続する」議案に、「宿泊 対し、05年度センター事業 議員提案の「四号議案に反 否両論が相次いだが、望月 とは許されない」と語った。 昨年の総会の意思を覆すと ことを上げ、山里議長は、 「赤字の累積を防ぐという

赤字が出るかもしれない」 泊業務が再開出来てもなお この新議案に議場から賛 年度末までに方向性を出 続きを推進する。センター 決成立した。 議が成立。表決に付され、 す」文言を追加する修正動 と教区の関係について、05 部門に関し、合法化する手 一六人中一四人の賛成で可

> 手に、存分な働きを見せ 中村』の形に脅える敵兵相

貸し与える。若武者は『槍

中村新兵衛は服折と唐冠を 主君筋の若武者に請われ、 ▼筒井との戦、初陣に臨む

方には信頼の的であった。

敵にとっては脅威、見

の姿は戦場の た『槍中村』 金の兜を被っ を着、唐冠纓 猩々緋の服折

蛮鉄姿の新兵衛は、二番槍 る。一方、黒皮縅の冑、南

された。困難な時期に現れ 来年総会への継続案が可決 案となり、五、六号議案は この結果、四号議案は廃

の恨みを黒皮縅に復讐せん

の駒を進める。敵は猩々緋

謝辞が述べられ、祈りが捧 の顔を見ると涙が出てしま うから」と当日欠席された 師が隠退されたが、当日議 石川守正隠退教師を覚え、 退教師、ならびに「みんな 場で挨拶された小島章弘隠 また昨年度末に二名の教 とばかり猛り立つ。▼いつ りに脚光を浴びた菊池寛の ドラ『真珠夫人』で久しぶ の脾腹を貫いていた。▼昼 き、槍が縅の裏をかいて彼 た後悔が頭をかすめたと の二倍もの力を振るった。 怖気が、敵にある。勝手が もは虎に向かう羊のような 掌編を更に要約する愚を犯 『形』、元々文庫本三頁の しかし、兜や猩々緋を貸し 違うと感じた新兵衛は平素

特設委員会継続に関する

東 海

れた。教区内諸教会・関係

会計報告も議事の中で行わ



-問題で活発な議論が続いた

▼火のような

左から小出望伝道委員長、山本将信副議長、北紀吉議長、栗原清書記 幹事挨拶に続いて、教区議 告、教団問安使の竹前昇総 催された。正議員一九四名 翔峰(松本市)を会場に開 長選挙が行われた。今回は 中一六五名出席。 会は、吾二四日~二宝日、 が東海教区規則内規の多選 議長、副議長、書記の三役 議事冒頭の教区議長報 第七九回東海教区定期総 それぞれ選出された。 清(岩本)、伝道委員長に小 将信(篠ノ井)、書記に栗原 決された。篠ノ井伝道所は、 吉(愛宕町)、副議長に山本 一新した。新議長には北紀 が上程され、満場一致で可 出望(静岡草深)の各氏が 、井教会設立に関する議案 また本教区総会にて、篠 時教会総会において、 九月一二日に開催された臨

関東教

げられた。

区の新潟県「中越地震」被

災支援活動献金として捧げ

余金約一七六万円が関東教 もってその活動を終え、剰 たこの支援活動も三月末を 諸施設から献金が寄せられ

金目録が、山本将信前東海 られることになり、その献

教区伝道委員長より関東教

区の疋田宣教部委員長へ手

〇四年三月に現住陪餐会 九六一年四月に設立。二

員数が三〇名となり、 同年 え、感謝の祈祷をささげた。

林眞議員が篠ノ井教会を覚 教団総会副議長でもある小 続けて、主任担任教師の山 とに対する謝辞を述べた。 本将信牧師が挨拶を述べ、 に関する件が可決されたと

種教会申請を決議した。篠 までの経緯を涙と共に報告 ノ井伝道所の役員は、これ 教区総会にて教会設立 第 決された。 委員会を継続することが可 件では、部落差別問題特別 長が派遣され、一日目の夕 区より疋田國麿呂宣教委員 本教区総会には、

とこれまでの支援活動に対 する謝辞が述べられた。 食後に、被災地の現状報告

中越震災」支援活動を行っ 東海教区は昨年度、「新潟 その活動報告・

師が准允を受け、神に召さ

入隆(長野本郷)、小林貞夫

(日下部)、古川昭 (遠州栄

(西之園路子報)

に』。示唆的だと思う。 巻頭作品は、『恩讐の彼方 ない。ところで、文庫版の 【信徒】 辻昭 (静岡)、塩

本教区総会で、

渡された。

男(静岡)、長倉勉(三島)

のない形は空しい、しか 永遠のテーマだろう。内容 ▼形か内容か、信仰的にも

し、形無くして内容は盛れ

西之園路子(蒲原)、伊藤瑞

【教職】 大沢秀夫(松本)、

教区常置委員選挙結果

しても、紹介したかった。

れ、教師として立てられた

喜びを語った。

(8)

(10)

地震被災」支援に集中

関東

一時を回顧し「私たちの思い

1

2

3

4

5

(6)

六日町教会の新井純牧師 ションが耳に残った。また、 り出すこと」というナレー

ボランティア活動発足

教

寸 深さを再認識させられた。

災支援報告では、被害の根 ロジェクターを用いての被 「雪掘りとは、悲しみを掘 議案の審議に先立つ、プ

された。 る圧倒的多数で原案が可決 結果的に満場一致とも見え

| 点。1.支援委員会を特設 議案の骨子は、下記の四

使山北宣久教団総会議長の

日程承認と続き、教団問安

論が交わされた。

議場から質問がなされ、

議

准議員承認、組織会、議事 され、開会が宣言された。 名中百三十名の出席が確認

議長報告を審議、原案承認

奥羽

長の震災に関する報告、

等がなされた。

決され、

議長報告は承認さ

れた。

諸報告の合間に選挙が行

途会計名称変更、さらに、

2005年6月25日

中、開会時一五六名の出席 震・雪害についての報告、 も関心も、大方、洪水・地 関東教区総会は、その時間 を得て開催された第五五回 会の全てを物語っていた。 発言がいみじくも、この総 向けられた。 今後の対応に関する議論に を会場に、正議員二六四名 日、大宮ソニックシテイー 生まれた地域社会との連帯 を活かして用いられ、私たを超えた方が、一人ひとり る」と、災害支援によって ひとりの背後に神がおられ 会への感謝を述べた。 ちを通して働かれる。一人 信賴関係、同労者・諸教

推進論だけではなく、「献金 する件」の審議では、積極 見や危惧も述べられたが、 難さを懸念する」という意 支援規模が不明」「献金の困 ち分かり難い」、「最終的な は二重性ないし三重性を持 教会・被災地支援推進に関 「『新潟県中越地震』被災 四 関東教区総会

逝去者記念礼拝

ント問題」について言及が

「セクシュアル・ハラスメ

感謝の報告をはじめ来賓挨

わたって、第十三回西東京

五月二九日から三十日に

挨拶を受けた。議場からは、|よる新潟中越地震被災支援

| 総会の報告がないことにつ

統一した参加をしたのでは

いては、西東京教区として

幸夫牧師の説教による開会

な質問が議場からなされ

区議長報告についても様々 拶の後、議事に入った。教

において開催された。横山 教区定期総会が国分寺教会

礼拝の後、議員総数二百二

た。また、挨拶文中の「正 分であるとの指摘がなされ なおし」について説明不十 ないことや「合同のとらえ

しい聖礼典執行」について、

得ている」。飯塚拓也書記の 「今総会は地震総会と心

> とし、復興を祈り、献金を | 募金に取り組む。 会・被災地を覚える主日」 3. 被災日に近い主日を 支援センターを設置する。 委員会として設置する。2. 『新潟県中越地震』被災教

> | さかげる。4. 教団の「被 金」および関東教区の「『新 災教会会堂再建支援の募 被災地支援募金」の二つの 潟県中越地震』被災教会·

が、無任所教師の立場・権 するという主旨であった 所教師の総会出席はその都 会での決議を廃止し、無任 利を慮る意見が相次いだ。 状に鑑み、第四六回教区総 度常置委員会で推薦し実現 件』廃止の件」については、 議論が沸騰した。教区の現

の推薦准議員に選任する 『無任所教師を教区総会

一て、質疑があったが、時間 挨拶文を巡っては、他の多 聖礼典」という表現を巡っ で否決された。 六〇名中賛成七七名、僅差 明したが、挙手の結果、一 くの教区と同様に、「正しい 山北宣久教団総会議長の

師の働きを軽視するもので 飯塚書記は再三、無任所教 はなくむしろ逆であると説 づつ所信を述べ、逝去教師 られるには至らなかった。 の制約もあり、議論が深め

准允式に臨む教師が一人

三役と宣教委員長の選挙

| する関東教区の特徴と言え | 也書記(竜ヶ崎)を含めた られて紹介されるなど、実 の関係者が全員壇上に上げ れた。来賓には謝辞と共に に細やか丁寧な紹介がなさ 「お土産」も手渡された。 「血の通った教区」を標榜

決戦投票も僅差であった。 員長(大宮)は、三回目の したが、疋田國磨呂宣教委 市)は一回目の投票で決定 玉和光)と村田元副議長(原 が行われた。三浦修議長(埼

結果、総会の委託を受けて

|めぐり激論

西東京

(7) ようか。

(8)

9

四役とも留任となった。

(10)

【教職】塚本潤一(高 吉岡光人 (吉祥寺)、副議 長には若月健悟(国分寺)

高(新潟)、原田史郎(東 山正道(四條町)、上島一 崎)、石橋秀雄 (越谷)、平 合同)、茨木公子(川越)、 【信徒】 金刺一雄 (上尾 は、二〇〇四年度教区剰余 指名することになった。 が選出された。書記は、正 選挙が行われた。吉岡議長 金処分の件まで上程したと 副新議長が相談して、翌日 夕食休憩の後、常置委員

関わったと認識しているか 長選挙に入ることを、議場 なく、一人ひとりが教団に 滝川英子 (七里)、和田献 選挙が行われた。議長には を続けながら、議長と副議 らである、と説明した。 一(氏家)、内山一(鹿島) に諮り了承を得た。即座に 次に久山議長は、諸報告 られた。次の三名の教師が 北川善也 (阿佐ヶ谷)、中 いて准允式の件が直ちに諮 受け、議場は承認した。続 が行われた。道家紀一(井 に教区に着任した教師の紹 了を告げた。常置委員選挙 ころで、一日目の議事の終 承認され、准允を受けた。 草)が正副議長から指名を 介を行った後、書記の選出 の開票は、翌日となった 二日目は、追悼式と四月

喜人(南三鷹) 西碧 (八王子栄光)、吉岡

年度諸報告が承認された。 け、決算も含めた二〇〇四 告審査委員会の報告を受 次に、二〇〇五年度各部 昼食休憩を挟んで、各報

憩の後、「土地建物特別会計 算の審議に入り、若干の質 疑の後、可決された。小休 委員の選任、各部計画、予

規則変更の件」「北海教区と

た。最後に、吉岡議長の司 行われ、原案通り可決され て、総会を閉じた。 式による閉会礼拝をささげ の宣教協約の件」の審議が

准允式を受けた三名

【教師】真壁巌 (相愛)、 常置委員(半数改選)

久山庫平 (南三鷹)、山畑

夫(新生釜石)、白戸清(野 松村重雄(弘前南)、太田春 【教師】雲然俊美(秋田桜)、

村田元関東教区副議長に一ったと答えた。また、教団 決算のほか、教区教師謝儀 を進めたが、調整が難しか 質疑、村田元関東教区副議 による交流を重んじて計画 て、久山康平議長は、信徒 実行できなかった点につい た。沖縄との交流ツアーが 林聖兵庫教区副議長の挨拶 **互助会計規定改訂、教区別** 議案としては、経常会計

按手・准允受領者の紹介 会時の出席は正議員一一五 名中一〇六名)。 ンターにて開催された(開 盛岡市の奥羽キリスト教セ 会が、 吾二四~二 三日、

介(教区外から三名)、総会 委員選任、さらに来賓の紹 事日程の承認、新任教師紹 開会礼拝後、組織会、議

介がなされた。 総会委員等の選任の後、

第 4581 号

1

2

3

(4)

5

(宮古) より

(教区) におけ

なされた。議長報告に関し

第六〇回奥羽教区定期総 | の按手受領願い、さらに、 の准允受領願いが審議さ 丸田久子氏(秋田飯島)お 直ちに、按手礼式並びに准 れ、三教師それぞれに満場 よび高橋潔氏(柴宿)より が大きな喜びに包まれた。 允式が執行され、議場全体 議長報告はか諸報告が順次 致で承認された。その後 休憩の後、議事に入り、 る課題を踏まえた報告であ サイクル問題への取組みの 多く出された。 あり方等教区の宣教姿勢に るとの評価のほか、核燃料 間をかけて審議され、 対する異議、二種教職制に ついての教区としての見解 への問い等、意見や質問が

期目)が、副議長に渡辺正

承認された。

委員会での審議を経た後、

をはじめ、昨年の教区総会

された藤井厚之教師(水沢) 拝をもち、総会直前に急逝

常置委員

が上程され、それぞれ審査 教区宣教計画および予算案

に邑原宗男教師(江刺、三 共に一回目の投票で、議長 なわれ、議長、副議長選挙

案されたが、採決の結果否 員会より大幅な修正案が提 宣教審査委員会において時 この後、議長報告は総務 が当選した。また、書記に 男教師 (青森戸山、三期目)

当選した。

は岡村宣教師(鷹巣)が初

動報告がなされ、教区にお

え、ご遺族と教会に主の慰

内藤和栄(土沢)、三上敦子

【信徒】鈴木務(秋田高陽)、

謙(小金井緑町)

(田名部)(当選者一名辞退

小中乃芙子(永福町)、川

【信徒】高橋豊 (白鷺)、

原正言(南三鷹)

教師六〇余名の方々を覚

前学院聖愛高校等の宗教活

また、東奥義塾高校、

弘

において天に召された信徒

以後に教区内教会・伝道所

使の山北宣久議長の挨拶と 一日目夜には、教団問安

(6) かち合う時を持った。

7

(8)

の志を受け継ぐ思いを新た

による補充員繰上げ)

(雲然俊美報)





2005年6月25日

決に続いて、加害牧師によるセク する裁判の判決を下した。一審判 シュアル・ハラスメント事件に関

コラム

100五年四月二二日、大阪高 九州教区内で起こったセク

確に認定し、不法行為責任を問う

シュアル・ハラスメント行為を明

教区

れぬままいたずら 戒規適用に踏み切 教団教師委員会も り、教団執行部や

ておられる。

得てもなお癒されぬ心と体を抱え

聞き、共に感謝すると共に、 りを生み出して来た様子を た女性は、教会の自浄能力に期待

事件から既に四年、被害を受け

難と戦いながら、課せられ 文化の異なる地で様々な困

なった。

た使命に取り組み、良い実

〇四年度の決算報告が詳細

「消息欄」教師身分、

無

教師異動

辞(代)川島隆一

//

就(主)山下慶親

辞(担)赤田直樹

熊本草葉町辞(代)瀬尾弘志

就(主)赤田直樹

続いて議事に入り、二〇

訂正

四五六二号三頁

事

局

就(主)一之木幸男 辞(代)米倉美佐男

″

就(主)柴多

しては裏切られ続け、勝訴判決を

に時を重ねてい

九州教区の執行部は一新した

らの歩みに主の導きを祈っ その労をねぎらい、これか

案についても異議なく、こ さらに二〇〇五年度の予算 になされ、これを承認した。

六三号、四五六六号、四五

六七号、四五六九·七〇号、

洛南

就(主)井上勇一辞(兼)井上勇一

人和キリスト

中島哲也、三谷 保 一 一 一 会哲也、三谷 保 一 一 会哲也、三谷 保

辞(教)井上勇

就(担)尾島信之

辞(担)尾島信之

小原、敏、安西貞子、 教師隠退

に、また四五六二号、 任所牧師」を「無任所教師」

四五.

アカデミ

日本クリスチャン

れを承認した。

た次第である。

て被害者への慰謝料支払いを命じ

る。

(3)

①当該牧師への「辞任勧告」、②

コメントを期待したが、

一言も触

(九州教区総会副議長)

問安使から判決について何らかの

(1)

2

(3)

4

5

(6)

(7)

(8)

ま九州教区は、当時の議長名で、

そしてこの判決を受けてすぐさ

会が開催され、

わたしたちは教団

願い、

一貫して事件の完全解決と

食を頂きながら、しばらく

ている加藤実氏の任期が、

また華中師範大学で働い

四五七四号、四五七七·七

11

八号、四五八〇号三頁「消

辞(主)原田のぞみ

辞(担)井上啓史

所在地変更

辞(主)岡本知之

就(主)井上啓史

多良見 諫早市多良見町

辞(担)原田彰久

就(主)川崎献 辞(担)高橋英美

辞(代)茂

就(主)岡本知之

同学の要請により一年延長

息欄」教師身分、「隠退牧師」

を「隠退教師」にお詫びし

その後、二人を囲んで昼

懇談の時をもった。

す前回記録の承認を行い、

午後からの会議では、ま

されることを承認した。

その他ケルン・ボン日本

て、訂正いたします。

再発防止に努めていきたい。

判決から約十日後に九州教区総

女性が受けた傷の癒されることを

い体制においても、被害

るものであった。

教団問安使、小林眞副議長挨拶

り、長崎哲夫教区総会議長

問題の現状を報告した。 金問題小委員会書記は未納

教区財政は二〇〇三年度

員会が教団A会議室で行わ

台湾協約委員会、スイス協 員会の下に組織されている 次に諸報告を受けた。当委

会期第二回世界宣教協力委

去る五月二三日、第3総

れた。

午後のセッションに入

は議長報告として次のよう

金の四割によって賄われ、 ハ割は教団に納付。教団に

に述べた。教区運営は、負担

た。

千万円の募金協力を訴え

負担金賦課基準の見直しに 郁夫予算決算委員長は教区

ついて、鈴木功男未納負担

新潟県中越地震被災教会会 財政の透明化」など、特に、

細部にわたって説明、川上

常議員会回

付事項へ

の委員会決定

を務め、九三年隠退した。 ルン・ボン日本語教会牧師 会、九一年まで西ドイツケ

照澤康晴氏(砥部教会牧師) 遺族は妻の五津子さん。

新居浜西部辞(担)小原 敏

就(代)川染三郎 辞(主)三谷

就(主)古屋朝則 辞(代)内田 汎 就(主)北畠友武 辞(主)古屋朝則 就(代)長島成幸 辞(兼)村田 重 就(主)有澤慎一 就(担)有澤禧年

島之内

辞(主)中島哲也

"

就(主)真下

潤

保

南久が原

就(代)木村知己

//

就(主)宮地健

"

辞(代)原

真文

誠

就(主)北川美奈子

就(主)藤野進之介 辞(担)藤野進之介

辞(主)松下恭規

就(担)北川正弥

田瀬

辞(主)山本尚忠

就(主)服部尚子就(主)服部尚子

世界宣教協力委員会

は墓所の実態と対応策など

長山信夫墓所管理委員長

担当者に答弁させた。 抱えている問題点の一部を の質問に応える形で教区の

件」。これまでも問題とされ

長に長崎哲夫氏(東京山

告とお礼が述べられた。 のご家族支援募金活動の報

三役選挙結果は、教区議

男(目白)、鈴木優子(小

九五五年、東京神学大学大

歳。長野県に生まれる。

|月二七日、逝去。七-

上郁夫(西新井)、鈴木功

樋田利明 (富士見町)、川

【信徒】池田浩二(霊南坂)、

手)、副議長に木下宣世氏

(鈴木功男報)

教師、野幌教会を経て、六

七年から八六年まで山梨教

学院修了後、酪農学園教務

たが、提案論拠に乏しく、

める件」続く「多選禁止の 委員会設置を東京教区に求

堂再建支援のために一億五

教

州

事件の解決を願う セクシュアル・ハラスメント

当該教会信徒への「主任牧師解任

部教会への互助費、 きたい。一方、島嶼部農村 任の重さを改めてご理解頂

教会強

澤豊重教団幹事による総幹

当たっており一時帰国中の 大学で昨年より教育活動に

働かれた大下秀三宣教師が 系人合同教会(カナダ)で

件」を審議し、当委員会と

その後、卯之町教会、野村

教会を兼任、旭川豊岡教会

業後、松山御宝教会に赴任。

九五三年日本聖書神学校卒

しての案を決定した。

世界宣教の姿勢に関する

六月で任期満了となり、そ

三浦照男氏を招いて、現地

おける東京教区の協力と責

決算及び予算案は賛成多数

により承認、可決された。

末で帰国した栢森幸子氏と

面談の報告等である。 告、海外からのお客様との 事の海外出張に関する報

中でもフレザーバレ

インドのアラハバート農科

育の任に当たり、

、去る三月

続審議となっていた常議員

歳。

東京都に生まれる。

最後にこれまで長い間継

四月二八日、逝去。七五

工気あすみが丘

辞(主)空閑厚憲

就(担)細川良枝辞(担)細川良枝

就(主)松下恭規辞(担)山本菊子

袖ヶ浦ともしび

会からの回付事項「教団の

み園で四年にわたる幼児教

この日は台湾の高雄めぐ

報告があった。上田博子幹

約委員会及び実務委員会の

葉睦子氏の支援体制等に関

する件が議せられた。

ン日本語教会に赴任した秋

や派遣に関する件やベルリ 語教会の次期宣教師の公募

一日目のセッションは愛

四%前後の推移はあるが、 理を実施しており、未達率 から理論賦課額を廃した処

要請」、③山北教団議長および常議

九

深澤

奨

員会、

教師委員会への一戒規適用

ないのでコメントできない」との

もった。

自然・社会環境や宗教、

た。なお、同氏の派遣式は

定した。

めた。遺族は妻の幸子さん。 三年から砥部教会牧師を務 大井伝道所を兼務の後、

就(主)尾崎八重子 辞(担)尾崎八重子

//

就(主)横山順

芦屋浜

辞(主)山下慶親

辞(主)遊佐健治 就(代)矢吹一夫 辞(担)木原葉子 辞(主)三田旅人 就(担)宮木保彦 就(代)木下宣世

就(主)

1)藤岡友幸

辞(主)横山順一

就(担)

)鵜沼義民

就(主)都築英夫 辞(主)鵜沼義民 辞(担)都築英夫

石橋

辞(主)柴多

泰

選ばれたことが報告され

ついても審議し、

これを決

六月九日に行われることと

(木下宣世報)

での活動報告を聞く機会を

の後任として木原葉子氏が

教師派遣に関する内規」に

また、これと関連する「宣

を牧会した。箱根伝道所、

ことであった。はなはだ残念であ

ても、「執行部でまだ話し合ってい れられず、質疑でコメントを求め

要請」を発した。

しかし当該牧師は未だに主任担

る。

任教師として居座

見町教会を会場に、正議員、 准議員三八〇名の出席を得

五月三一、六月一両日富士 第六四回東京教区総会は

錦一牧師による「福音のた

開会礼拝は松戸教会石井

めならどんなことでもしま

出版局長の三名の方々から 貞夫年金局理事長、秋山徹 林眞教団副議長、来賓小林

の経済的問題や教区墓所の

定と最低謝儀基準額補償

た八丈島教会小田嶋泉教師 東支区長から昨年急逝され

(互助) のための準備専門

老朽化問題など報告した。

続いて議長は、議場から

隠退教職ホーム信愛荘運営

化費による一貫した支援、

案が審議された。「東京教区

議員提出による二つの議

窺わせた。共に少数否決。

支区関連で、米倉美佐男

居坂)、橋爪忠美(洗足)、

小橋孝一(霊南坂)。

辞(主)有澤慎一

就(主)倉橋 剛 辞(主)多芸正之

関東教区

辞(巡)嶺

辞(主)小幡鉄郎

就(教)樋口

尚進

就(代)竹内郁夫

就(主)太田光夫

横浜指路辞(担)荒井多賀子

辞(主)宮地健一

辞(主)有澤禧年

屋治雄(柏)、張田眞(鳥

【教職】今泉幹夫(小金)、古

常置委員(半数改選)

佐々木悟史氏(隠退教師)

琴 浦 〃

辞(主)倉橋 剛 就(主)高橋英美

西小倉めぐみ

消息

辞(代)字野

岡山聖心

辞(担)大西英惠辞(主)千葉望

における最低謝儀基準額設

挨拶を受けた。

教団問安使小林副議長

山北宣久議長の挨拶文

す」と題する説教。

礼拝に続き、問安使の小

を代読する形で教団の課題

を通して教団形成を「教団 に言及、「正しい聖礼典執行 て開催された。

(4)

金未納問題の現状を報告

東京

負担金の明細など画期的な

京教区積年の問題が整理さ どまった。背景にある、東 従来の議論の繰り返しにと

長に一任とされた。

(西千葉)、書記は議長副議

れなければならないことを

資料が配布された。

(3)

(4)

5

事報告があり、常議員会、

教団月次会計、教区別教団

 $(\mathbf{6})$

(7)

(8)

(9)

(10)

(10)

二十番地三三〇 シーサイド

(10)

(第三種郵便物認可)

のかも知れない。

ところが、こんな「さいはての

って洗礼へと導かれ

(1)

2

3

4

5

(6)

7

8

ただろう。

1

2

(3)

(4)

(5)

(6)

7

(8)

9

(10)

篤 ()

お祈りと温かいご支援を

中越地震·再建支援委員会

境を旅する」などと銘打ってバス 何台もの観光バスとすれ違う。「奥 能登さいはての地めぐり」や、「辺 り良い感情を持たなかった。 ツアーが実施されているのが分か れた当初、この地が「さいはての る。私は六年余前、輪島に遣わさ 」と呼ばれていることに、あま 朝、金沢方面に車で向かう途中、 しかし、鉛色の雲に覆われ牧師 地」にも教会はたてられた。

の北端にある輪島は鉄道が四年前 館を揺らすような激しい暴風雪が に廃止となり(今年三月には珠洲 **埋日吹きすさぶ冬は、 荒涼とした** スージさえ漂わせる。 能登半島 勇 文人 決して過去のものではない。今を 疎化・少子高齢化が進む地域にあ るわけではないかもしれない。過 と受け継がれている。もちろん、 生きる教会員一人ひとりにも脈々 具体的な数字となって教勢が伸び そして、その旺盛な伝道心は、 夕で十五~二十人の礼拝 って、それでも、常に朝

> が少なくないからだ。具体的など 日本各地の教会に連なっている

たちの名前と、その人が連なって

いる教会を覚えて祈っているし、

かれた種が芽を出し成長 ことは、感謝である。ま く礼拝が続けられている 会学校も途切れることな 出席者を維持し続け、教 福音の種が蒔かれ続けた て九十二年間ひたすら、 万は朝市で喫茶店をやっ し収穫されることを信じ 九年前に洗礼を受けた

団のためにも祈っている。

たとえ、「さいはての地」と呼

ちが連なることになるかもしれな 輪島を離れていった家族や友人な

い教会のことを覚え、日本基督教

ころ姉と一緒に教会学校 ている婦人だが、子供の 住むこの地こそが中心だ。後ろは は日本列島が広がっているのだ。 日本海。つまり、私たちの眼前に はての地」などではない。自分が ちにとってこの地は決して「さい ばれる土地であっても、住む私た

教会員らの和太鼓集団「ボアネルゲ」などによって毎年開かれる賛美集会

めしょうしび

「さいはて」こそ伝道の拠点

輪島教会牧師

で祈ることがいやで すぐに離れたという の献金当番 に来たもの

が口をそろえて言うのは「遠いで 私の車の走行距離は毎年三万キロ で七五キロ離れている。さらに金 はバスと車しかない。 同じ能登伝 ら鉄路は完全に消えた)、交通手段 **島は「辺境の地」「さいはての地」な** すね…」。なるほど、奥能登の地、輪 を超える。教会を訪ねる遠来の方 むと、車は貴重な交通手段となる。 沢までは一二〇キロという地に住 **追圏を構成している「隣りの」七** 緑が廃止となったために奥能登か 尾教会まで六○キロ、羽咋教会ま かわったきっかけだ を教会学校に送り出 十年前に子どもたち の煎餅屋さん。約四 受洗した婦人は朝市 導かれた。三年前に うになり、洗礼へと 年後に夕拝に出るよ 方だ。しかし、三十 に出席するようにな したことが教会とか 四十年後に夕拝

福音の種が蒔かれることはなかっ ばれる北陸の中でも、特に「伝道 困難な地」である奥能登・輪島に の果てまで救いをもたらさん」と 心がなければ、「真宗王国」と呼 したメソジスト教会の旺盛な伝道 業的な伝道」だと言えるのかもし 洗へと導かれた。このように、蒔 珍しくない。この地での伝道は「林 なることは、輪島教会においては かれた種の収穫が幾世代もあとに して礼拝に出席するようになり受 リスト教幼稚園を三十年前に卒園 の一人はかつてこの地にあったキ 受洗者が与えられたが、そのうち た。今年のイースターには二人の した男性で、元園長との交流を通

た。現在約三 年が経ちまし いを始めて半 全国の諸教会 目標を掲げ、 億五千万円の が発足し、 建支援委員会 教会会堂等再 に支援のお願 新潟県中

十万円の募金

輪島教会にとっていつも祈りだっ

だからだろうか。日本伝道は

た。この地から巣立っていって、

が皆様のお祈 られています。ご協力を心 りと共に寄せ

みたいと願っています」と きと私達の真心を持って望 災支援センターニュース」 **悠害の姿が再び露にされ、** ありました。雪解けと共に った被災地の現実に主の導 て、再び地震の被害との戦 より感謝いたします。 した。関東教区発行の「被 にない豪雪にも見舞われま が始まる。この痛みを負 号に、「雪との戦いが終っ 被災地は震災の後、例年 えた教会、移転再建を決意 の方々、そのような厳しい 家族、体調を崩された信徒 身での再建は非常に困難な も被災した中で、各教会自 した教会もあります。 んでおられるとのこと。新 し、主を信じて前向きに歩 中でなお主のお守りに感謝 ことです。 いただきたいと願います。 たな雪の季節を迎える前 に、どうか再建・復興させて 多額の会堂建築負債を抱

も早く訪れますように、諸 の篤いお祈りと温 教会、信徒の皆様 かいご支援をよろ

補強・補修工事を含め、

復

福音宣教の拠点として憂

興作業が急がれます。

いなく活動する日が一日で

仮住まいを続ける牧師ご

小出教会屋根の雪下し 座名/中越地震 被災教会支援募金 315973° □ 0 0 1 3 0 -8 郵便振替口座

ます。

しくお願いいたし



じてきたことだし、事実、これ

校された生活

いは新鮮だった。

祉主事になるべく進学した。

父は、娘たちに職業に就くこ

とを知り転職した。十分の一の

坂幼稚園が教師募集しているこ

資格取得後、教会付属の南部

園児数には驚いたが、

聖書の言

葉が通じる働き場が嬉しかっ

園長の婦人牧師と共に懸命

家族も石川、愛知、愛媛と住ま までもそうだった。 生までを過ごし、父と母が教会 との転任がなくなる。 民代さん いを移った。戦争となり四年ご と名付けた。父の転任に伴い 時代が来ると三番目の娘に民代 の牧師だった。必ず民主主義の 西学院に学んだメソジスト教会 は、三瓶教会で小学生から高校 文は伝道一筋の牧師だった。 に仕える姿を間近に見てゆく。 民代さんの父、森敬造氏は関

> それぞれに栄養士、幼稚園教諭 とを強く勧めた。二人の姉は、

られたのは幼稚園助手としての となっていた。民代さんに与え

働きだった。

二百名の園児が通

ってくる大き

な園で、宗教色は

教会の幼稚園のため、子供たち

に園を運営した。神様のため、

かれなかった。 東京・府中に開 女学院に進みたかったが道が開 代さんは、姉の学んだ東洋英和 終戦後、女学校を卒業した民

> 学び、幼稚園教諭の資格を取得 宿高等保育学校の一回生として ら、一九五四年に開設された原

> > えて、後任の園長にバトンを渡

この三月に四五年の働きを終

とた。これからは、幼稚園委員

した。この学校での、キリスト

教保育を志す仲間たちとの出会

ら支えてゆくことになる。

会委員長として幼稚園を背後か

も多かったと言う。

支えられたと言う。今、 園児数

いているのだからとの思いに 一御言葉を伝えるためにここで

は定員一杯にまで増えた。

助手としての仕事を続けなが

た民代さんにはショックなこと なかった。教会の中で育ってき

民代さん



1932年、 石川・七尾生まれる 南部坂幼稚園元園長、 麻布南部坂 教会会員。

ださる。それが、民代さんが信 必要なものは、主が与えてく 必要な 与えられる

ものは

各教区総会が続いている。残念 hadillindidadillindidadillindidadillindidadillindidadillindidadillindida

そ対話を求めて行かねばならない 使を拒否されたが、それゆえにこ ながら沖縄、京都の両教区は問安 おし」の問題をめぐる質疑、そし 題を担いつつ歩んでいる様子を今 回も教えられている。 差異はあるが 、「合同のとらえな 文もなされ、 これも今後に反映さ

減少をめぐっては厳しい意見、注

一方、教区活動連帯金の受入額

を間安して

いて私の問安した教区ではいずれ 形成に励みましょう」の一文につ 聖礼典執行を通して教団(教会)

も質疑が熱くなされた。 聖礼典

ので、報告を受け対応していきた

いと思っている。

四役で分担して一五の教区総会

と感じている。沖縄教区総会には

て、セクシュアル・ハラスメント

れていくであろう。

更に議長挨拶文の中で「正しい

愛澤豊重総務幹事を傍聴せしめた

裁判についての質問が多かったよ うに思えた。

人一教区ずつ随行訪問させていた を問安しているが、幹事たちも

出来なかったが、現状の把握はそ れなりなしえた しれらについ ては深めることは ら本格的な取り組みがなされるべ の乱れが教団の不一致、教会間の については看過できない。これか 不信を増大させるだけに、この件

たと感じている ことは有益であっ

教団総会議長

山北宣久)

関東の五教区を問安させていただ

私は四国、奥羽、東北、西東京、

いたが、各々の教区固有の宣教課

9

(10)